ごみ問題啓発用ポスターを掲出していただける事業者の方募集

毎年、ごみ問題啓発用ポスターコンクールの入賞作品を啓発用ポスターとして作成し、市内のごみ袋販売店に掲出いただいています。現在、令和７年度の啓発用ポスターを掲出いただける店舗、事業者を募集しています。

令和７年度　啓発用ポスター作品の一部

▽**ポスター内容**
- ポイ捨て・不法投棄を呼びかけるもの
- 食べ残しゼロを呼びかけるもの
- エコ活動（リサイクル）を呼びかけるもの
- その他（リチウムイオン電池・地球温暖化）

▽**掲出期間**　３か月以上を目安にお願いします。

▽**申込み方法**　電子申請で申し込んでください（ポスターが準備でき次第お持ちします）。

▽**問合せ**　生活環境課清掃・リサイクル係

電子申請

ごみと減災～災害廃棄物について知ろう～

令和４年台風15号　静岡県清水区押切公園に投棄されたごみを撤去する様子（環境省提供）

東日本大震災から15年が経過しましたが、地震の脅威は続いています。被災後に出たごみが避難所近くに積み上げられ腐敗等により生活環境が脅かされることもあります。普段からものを溜め込まない、粗大ごみを処理しておくことは減災に大きな効果があります。使わないものは、リサイクルかリユースするなどして整理しましょう。

また、災害復旧ではごみ処理が早く進むことが生活再建の足がかりになります。災害時に出る廃棄物は、仮置き場に品目ごとに一時保管し、被災していない地域に運んで処理するため、分別しなければ処理できません（写真のような状態になると選別作業や搬出作業に長い時間が掛かります）。

環境省は、被災地の災害廃棄物処理の様子を災害ごとに公開しています。

▽**問合せ**　生活環境課　清掃・リサイクル係

環境省
災害廃棄物
フォトチャンネル

森林レンジャーがゆく（148）

Shinrin RANGER あきる野

「外来カメムシ」

近年、東京都でも外来種のカメムシ、「キマダラカメムシ」が増えています。外来種といっても入ってきたのは古い時代で、初めて確認されたのは長崎の出島です。スウェーデンの博物学者ツンベルクによって、1770～80年代の江戸時代に発見・新種登録されました。南蛮貿易の荷物に紛れ込んできたと推察されます。このカメムシは本来、亜熱帯～熱帯（東南アジア）に生息しています。不思議なことに発見後150年近くほとんど姿が確認されていなかったのですが、1934年頃から長崎で見られるようになりました。細々と人の目に触れないように生息していたと考えられます。ところが2000年以降に生息地が急激に拡大・北上し、あきる野市でも確認されるようになりました。このカメムシは体長20mmを超える大型ですが、「サシガメ」の仲間のように人を刺すこともなく、無毒と言われています。捕獲した時もよく似た「クサギカメムシ」のような悪臭を出すこともないため、人に対して無害と考えられています（においについては、強い悪臭を放つとの報告もあります）。外見は、クサギカメムシに似ていますが、黒褐色のクサギカメムシに比べて黒色が強く、一回り大きいです。腹は、白色（黄色）と黒色のストライプとなっていることで容易に区別ができます。このカメムシも植物の樹液を吸汁します。そのため、今後は、発生状況により農作物（特に果樹）の吸汁などの農業被害が予想されます。

この熱帯由来のカメムシの生息域の拡大は、林野より市街地（都市部）で先行しているとの報告もあります。ヒートアイランド現象により暖かくなった市街地の都市公園や家屋で集団越冬して、生息域を拡大していると考えられます。また、これまで、林野での越冬が難しいのではないかと考えられていましたが、昨今の地球温暖化の進行で、林野でも越冬できるようになったとも考えられます。写真のキマダラカメムシも菅生の山林で１月に捕獲しました。このことから、今のあきる野市は、江戸時代の長崎・出島と同等かそれ以上に温暖だと考えることができます。

熱帯由来のこの虫の生息域の北上や拡大は、そのまま地球温暖化の進行を計るバロメーターになるのかもしれません。

たかがカメムシですが、私たちが知らないところで「地球温暖化」の影響で生態系も変わりつつあります。（杉野）

道路側溝や水路には生活排水などを流さないでください

雨水を排水する道路側溝や水路は河川につながっています。生活排水、油、ペンキなどを流してしまうと、油膜、着色水、泡の発生などの水質汚濁が発生し、魚などの生き物に影響を及ぼします。河川をきれいに保つため、次のことに注意してください。

- 洗車は洗車場で行う。
- 不要になった油（食用油、灯油、エンジンオイル等）を流さない。食用油は紙や布にしみ込ませたり、凝固剤で固め可燃ごみに出す。
- ペンキ等で汚れた水を流さない。ペンキや灯油等の処理は、取扱店や専門の処理業者に直接相談するなど、適正に処理する。

※市では収集できません。

▽**その他**　油やペンキ等が側溝や水路から河川に流れ水質汚濁事故になった場合、除去する費用は流した方が負担することになります。法令等による罰則が適用されることもあります。

▽**問合せ**　生活環境課生活環境係

河川に流出するごみを減らしましょう

風の強い日は、ペットボトルやポリ袋などのプラスチック類などが飛ばされ、中のごみが飛散することがあります。これらのごみが、水路等に入ったり放置されると、やがて河川に流出し、河川ごみや海洋ごみの一因となります。特に、プラスチックごみは自然に分解されないためそのまま残り続けるだけでなく、紫外線等による劣化で細かく崩れ、マイクロプラスチックになります。一度流出したごみの回収は困難です。対策を行い、流出を防ぎましょう。

▽**私たちにできること（例）**
- ごみ袋をしっかり縛る。
- プラスチックやポリ袋等が飛ばされないよう対策をする。
- ごみの排出で使用している箱や袋・ネットなどは、ごみ収集後早めに片付ける。
- 近所のごみ拾いをする。など

▽**ボランティア袋**　市では、道路や河川等の公共の場所の清掃で使える「ボランティア袋」を配布しています。

▽**配布場所**　市役所３階生活環境課、五日市出張所、横川観光ファインプラザ、いきいきセンター、中央公民館、東部図書館エル、トラストルピア（３階総合受付窓口）、西秋川衛生組合

▽**問合せ**　生活環境課生活環境係、清掃・リサイクル係

要介護認定調査員（個人委託）募集

介護保険の要介護認定・要支援認定申請に伴い実施する認定調査を受託していただける調査員（個人委託）を募集しています。

▽**応募方法**　履歴書、介護支援専門員証の写し、都道府県の認定調査員新規研修修了証の写しを送付するか窓口へ提出してください。

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。

▽**申込み・問合せ**　高齢者支援課介護認定係（〒197－0814　二宮350）

高齢者げんき応援事業

▽**受付時間**　平日午前９時～午後５時

▽**対象**　市内在住の65歳以上の方

▽**担当課**　高齢者支援課高齢者支援係

開戸センター（☎550・2755）

▽**リズム体操**　リズムに乗って楽しく体を動かします。
- 日時…毎月第２・第４水曜日（祝日を除く）　午後１時30分～２時30分
- 講師…体操講師
- 定員…10人（申込み順）
- 費用…１回500円

萩野センター（☎550・2722）

▽**男の台所**　のらぼう菜を使ったお寿司・かきたま汁・にんじんの味噌味チャンプルーを作ります。
- 日時…３月28日㈯　午前10時30分～午後１時
- 講師…地域活動栄養士会のらぼうず
- 定員…８人（申込み順）
- 費用…600円（材料費別）

▽**将棋サロン**　将棋を通して仲間づくりをしませんか。
- 日時…毎週木曜日（祝日を除く）　午前10時～11時30分
- 定員…10人（申込み順）
- 費用…１回500円

五日市センター（☎533・0330）

▽**手芸教室**　フェルトで作るチューリップ
- 日時…３月27日㈮　午後１時30分～３時30分
- 講師…五日市センター職員
- 定員…10人（申込み順）
- 費用…１回1200円

▽**スマホ教室（入門編）**
- 日時…４月14日㈫　午後２時～３時30分
- 講師…あきる台病院システムエンジニア
- 定員…５人（申込み順）
- 費用…無料